

第2回 民間技術説明会(技術概要)

番号	業者名	技術名称	技術概要
1	住友金属鉱山(株)	銅スラグ細骨材	<p>技術の概要 「人工砂」として、品質的に安定し、グリーン調達資材である銅スラグ細骨材を使用することで、単位水量の低減および吸水率が高い細骨材使用においては、乾燥収縮値低減効果が大きいと、コンクリートの品質が向上する。</p> <p><特徴> ○従来技術との比較 ・人工骨材のため品質が安定(密度および粗粒率) ・単位水量の低減(約3~5kg/m³) ・乾燥密度が重い(約3.5g/cm³)</p> <p>○特徴 ・JIS製品、グリーン調達材 ・ブリーディング抑制のため、細骨材使用量の3割が目処</p>
2	日特建設(株)	パフェグラウト工法	<p>技術の概要 構造物の補修・補強を目的とする空洞・空隙の充填技術。コンピュータによる流量制御で均一な充填・補強が可能となり、品質が向上する。</p> <p><特徴> ○従来技術との比較 ・可塑性エアモルタルと比較して、コストは約8%、工程は約3%削減される。 ・コンピュータによる各材料流量制御により、品質が向上する。</p> <p>○特徴 ・水中不分離性が高く、地下水による希釈分散しにくい。 ・環境や条件に応じた配合を備えており、多くの用途に対応ができる。</p>
3	事前混合処理工法協会	回転式破碎混合工法	<p>技術の概要 建設発生土等と土砂と少量の安定材(セメント)をプラントにて混合し、分離防止材を噴霧し土質改良材として活用することにより、建設発生土等の有効活用が可能となる。</p> <p><特徴> ○従来技術との比較 ・原位置混合工法に比べ、高品質な混合拡販ができる。</p> <p>○特徴 ・各設備はシンプルで頑丈なため、メンテナンスは容易。 ・建設発生土、コンクリート塊、岩等広範囲な建設発生材を土質改良材に再生可能。</p>